

チョウ目シロチョウ科

ヒメシロチョウ

Leptidea amurensis (Ménétriès, 1858)

島根県：絶滅 (EX)

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵 11

【選定理由】

島根県から広島県境の呑谷峠（のんだにだわ）で1952年7月12日に平田信夫氏が採集した1オスが唯一の記録。その後、周辺は環境が一変し、現在は絶滅していると判断される。

【概要】

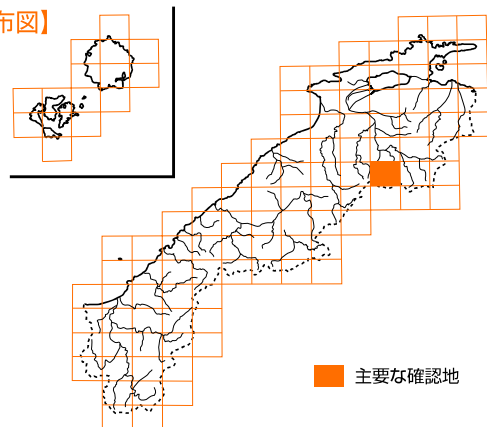
翅長20-24mm。食草ツルフジバカマの生える草地に生息。北海道、本州、九州に産するが西日本では広島県高野町、阿蘇山・九重山のみから知られていた。近年、倉敷市立自然史博物館に寄贈された平田信夫氏（元・松江高校教員）のコレクション中に「呑谷」ラベルの本種1オスがあり、これについて土橋重人・淀江賢一郎・奥島雄一の3氏が仔細に検討した結果、呑谷峠の島根県側で採集されたものに間違いがないことが判明した。

【県内での生息地域・生息環境】

旧・仁多町呑谷峠は、当時は放牧によって毛無山山頂から峠まで本種生息に適した大規模なシバ草原であった

が、現在は生息環境が失われ、絶滅していると判断される。広島県高野町でも1992年には絶滅したとされる。

【分布図】



■ 主要な確認地

生息地域				山地地域				里地域				平野地域					海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	
○					○																	

昆虫類

絶滅
野生絶滅

絶滅危惧Ⅰ類

絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅危惧

情報不足